

社長メッセージ

代表取締役社長兼執行役員
来島 達夫

「変わらぬ決意」を原点に

2005年4月25日に福知山線列車事故という極めて重大な事故を惹き起こしたという事実、事故発生リスクを予見して事故を防ぐ対策を講じることができていなかった責任の重さは、時を経ても、決して変わることはありません。

「福知山線列車事故のような事故を二度と発生させない」



という変わらぬ決意を原点に、鉄道を動かすことで必然として発生するリスクを抽出し、対処し続けること。これが、お客様に心から安心、信頼してご利用いただける鉄道を築き上げる唯一の道だと考えています。

「めざす未来」に向けて踏み出した一歩

私たちは昨年、「JR西日本グループ中期経営計画2022」（以下、「中計2022」）のスタートにあたり、未来へ向け、当社グループとしてめざす未来（それを「人々が出会い、笑顔が生まれる、安全で豊かな社会」と表現しました）の実現を思い描き、安全をすべての根幹に据え、事業戦略の遂行に大いなる挑戦を積み重ねることを誓いました。そして、あらゆるステークホルダーの皆様へ感動を与え、笑顔にしていくことを決意しました。

2018年度においては、西日本豪雨（平成30年7月豪雨）



などの自然災害により、事業運営に少なからぬダメージを受けましたが、復旧・復興に向けたグループ全体の奮闘により、堅調に「中計2022」初年度をスタートすることができました。

「中計2022」2年目に掲げる3つの課題

今期は、「中計2022」の2年目として、グループ全体で取り組むべき課題を大きく3つ、掲げています。

1つ目は、鉄道の安全性、生産性、そして持続的に選ばれる力についてです。

安全の取り組みは、鉄道事業はもちろんのこと、グループ全体においてすべての事業の根幹です。グループ会社、協力会社との一層の連携の下、「JR西日本グループ鉄道安全考動計画2022」の確実な具現化および福知山線列車事故の風化防止にグループ全体で取り組みます。

また、将来のさらなる環境変化も見据え、先端技術の活用やさまざまなパートナーとの連携による生産性の向上も目指します。

さらに、魅力的な輸送サービスの提供を通じて、地域や社会、お客様から持続的に選択いただけるよう、新幹線および在来線の広範な鉄道ネットワークを活用し、創造事業との相乗効果により、あらゆるチャンスを活かした諸施策を推進していきます。

2つ目は、主要プロジェクトの確実な推進についてです。

今後、西日本エリア内で大型のプロジェクトやイベントが数多く計画されています。社会インフラを担う企業グループとして、とりわけ、北陸新幹線延伸と新大阪の拠点性向上、2025年大阪・関西万博への貢献、なにわ筋線整備、創造事業3大プロジェクトである「大阪」「三ノ宮」「広島」の大規模拠点駅開発など、グループ全体の総力を挙げて、これらの成果を最大化させるとともに、関西をはじめ、地域の活性化に貢献していきます。

3つ目は、成長戦略とグループ経営体制についてです。

2030年のめざす未来の実現、連結営業収益2兆円という挑戦目標の達成に向けて、これまでの延長線上の取り組み

だけでなく、非連続的なステップアップが必要です。

そのために、どう具現化していくのが極めて重要であり、その具現化の一つのプロセスとして、2030年への成長ストーリーの策定に併せて、創造事業系のカンパニーの機能充実により、グループ経営体制の強化を進めていきます。

私たちを取り巻く環境が大きく変化し、技術革新が加速度的に進んでいます。体制や仕組みの充実を通じて、多様化、高度化する世の中の課題やニーズに応える価値を提供していただける組織の下、グループ各社の役割や使命は何か、部門やグループの力を結集してどのように実行していくのかについて共通認識を持ち、その結果として、鉄道のさらなる安全性向上の上に、グループ全体の成長につなげていきます。

使命感、夢、勇気を持って、
グループ一丸となって挑戦

実現したい将来に向けて、今、何に、どこまで手を打てるのか、このことが組織の未来を決めます。自信を持って着実に行動に結び付けることで、新たな可能性につなげていきたいと思えます。

社会課題に率先して向き合い、社会の中での当社グループの使命は何か、本当に成し遂げたい夢は何なのかを考え、お客様、地域の皆様、株主の皆様、共に働く仲間とめざす未来を分かち合いながら、勇気を持って次の一歩を踏み出していく。私たちの根幹である「安全・安心」、めざす未来の実現の主役となる「人」づくり、鉄道が期待されている将来にわたる「地球環境」への貢献、私たちのこの3つの価値軸を大切にしながら、「人々が出会い、笑顔が生まれる、安全で豊かな社会」の実現に向かって、グループ一丸となって挑戦を積み重ねていきます。

代表取締役社長兼執行役員

来島 達夫